

## 【会情報】

【会員企業ご訪問 : Vol 122】

# アップルウェア株式会社 (八尾支部)

今回は西日本プラスチック八尾支部会の支部長に就任頂いているアップルウェア株式会社の代表取締役 森田 秀信様を訪ね、小野市の事業本部へ訪問しました。

|        |  |
|--------|--|
| 本社住所   | 大阪府八尾市山本町北 3-1-28  |
| 事業本部   | 兵庫県小野市中町 35  |
| 電話/FAX | 072-922-6886/072-996-1127 (本社)   |
| 資本金    | 3,000 万円   |
| 創業     | 昭和 33 年 10 月   |
| 設置成形機  | インジェクション成形機 12 台<br>650 トン×2 台、550 トン×2 台<br>450 トン×2 台、350 トン×2 台<br>280 トン×1 台、220 トン×1 台<br>180 トン×2 台<br>※全て日本製鋼所製 |
| メイン商品  | 家庭用農園芸関連商品   |



森田 秀信 代表取締役

## 会社名の由来

創立は昭和 33 年 10 月で、父親が近畿合成工業株式会社を立ち上げたのが始まりです。現在の「アップルウェア」という会社名は平成 3 年に近畿合成工業株式会社の製販分離に伴い誕生しました。アップルウェアとは「アップル」と「ウェア」の 2 つの単語から成り立っています。「アップル」とは近畿合成工業株式会社の商標名で、既にこのネーミングが顧客に浸透していたことから馴染み易く、且つ覚えやすかったこと。そして「ウェア」は英語では「WARE」となり、幅広い製品を意味しますので、この 2 つを組合せて「アップルウェア株式会社」としました。



事業本部 外観

## 全社一丸で変化する

会社は「変化しようとする考え」が重要だと思っています。

過去の経験や固定概念では新しい発想が制限されてしまいがちです。私たちは経験

が少なく、特殊な技術力があるわけではないので発想や感性を大事にしたいと思っています。その発想を素早く商品化する為に組織体系の短縮化と上下関係の風通しをよくしたいと考えていますので、常に「現場」を大切にしています。

### 自社の強み その①

当社の製品は全て企画・設計から販売まで自社一括で行っています。その為、お客様のニーズに応じた企画や提案が可能な事が強みです。今後はこの強みを活かしつつ会社の独自性を持った商品開発に取り組みたいと考えています。

また、社員から商品に関する提案があった場合はできる限り即断即決を心掛けています。新提案は予算が全て。予算上で大きな問題がなければ、余程の事が無い限りGOサインを出すようにしています。実際に行動を起こしてみなければ分からないことも多々ありますし、先ほどの「変化しようとする考え」を重要視したいと思っているからです。

ただ、実際に行動してみた結果、うまくいかずに撤退するときも早く行動するようにしています。行動を起こした結果が失敗だった場合、少しでも早く撤退する事でリスクを最小限に抑えることができますし、最初の結果が悪かった場合はいろいろ手直しをしても上手くいかない事が多く、改良を繰り返すことでより多くの時間を要することは効率的ではないと考えているからです。



製品の一例①

### 自社の強み その②

当社は徹底的な効率化を目指しています。

理由のひとつに人材不足があります。これに対応する為地元企業と協力し、効率化を図ることで克服するようにしています。もうひとつは取引先との信頼関係です。自社の生産を安定させる為には外注業者との連携、情報交換を密にするようにしています。状況によっては自社の生産設備を移行提供する事で外注先の生産安定化もお願いしており、それによって生産の増強や安定、効率化を図ろうと考えています。



製品の一例②

## 現在・今後の課題

最も重要な課題が人材確保と人材育成です。事業本部を置いている小野市は兵庫県の南西部に位置していて、新開地や三ノ宮に電車で直結していることもあり、周辺地域の方々は神戸方面に出してしまうことが多く、人の確保が難しい状況です。その為、信頼関係の築ける外注先の確保と協力体制を構築することが今後の課題になってくると考えています。



工場内の様子

## 協会への要望点

所有している情報の交流がスムーズに行える環境づくりをお願いしたいと思います。今はインターネットやスマートフォンの普及で情報収集する手段は豊富にありますが、見逃している情報も多いと感じていますので、情報の交換や共有がスムーズに行える様にして頂ければと思います。

また、若い世代が仕事をしやすい環境を整えることも必要ではないでしょうか。勿論、企業としての努力が不可欠なことではありますが、協会でもお手伝い頂けたらと思っています。

※ 会社を訪問して ※

今回森田社長のお話をお聞きして、経験が少ないからこそその発想を大事にしたいという考えをお聞きし、自身はどうなのだろうかと考える良い機会となりました。改めて振り返ってみると、経験によって「恐らく無駄であろう」と決めてかかってしまっている部分があり、「初心忘るべからず」ということの重要性を改めて感じました。

◎ありがとうございました  
取材：事務局 平田・山下

※本記事記載の情報については、2015年12月2日現在のものとなります。

**掲載希望の方は**

**事務局(06-6214-8300)までご連絡ください。**